

# 区医だより

発行●浪速区医師会 編集●広報部

## 巻 頭 言

### 50年の荷物をそろそろ断捨離

菱 川 秀 夫

(菱川クリニック 院長)

父の代から数えてこの地で開業して、約50年半世紀を迎えました。私の父は昭和20年終戦前に大阪帝国大学医学部を卒業し、和歌山の本家の病院に勤めておりました。戦後南方に外科医として従軍していた父の兄が命を取り留めて帰って来たので、昭和32年父が浪速区で独立して開業しました。父がこの場所を選んだわけは目の前に酒屋があった事、そして赤手拭い稲荷の地名が気に入った事です。

私は昭和64年に神戸中央市民病院を退職し、父の後を継ぎました。早いもので私も開業して20年たちます。父が亡くなった後、一人暮らしの母が大病をして平成16年に診療所のある実家で同居することになり家族と共に芦屋から引っ越してきました。私たちの荷物に加え、実家の歴史と共に増え続けた荷物の中での暮らしが始まりました。

生前の父は多趣味で収集癖がありました。旅行好きな父は旅先で見つけた珍しい物をコレクションし旅の記録を写真や8ミリビデオに撮って残しておりました。その未整理の記録や旅の思い出の品々は膨大な数で残っています。私の幼少の頃、応接室の壁にはお面がいっぱいで中には怖い鬼の面があって部屋に入るのが恐ろしかったのを覚えています。お面の他にも石、陶器、コイン、フクロウ、懐

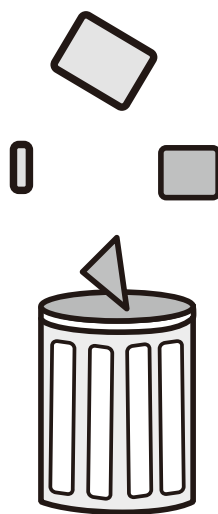
中時計、パイプ、絵画、貝 etc…です。石は大きい庭石から小さい箱庭の石と様々です。陶器は信楽焼きの壺元と知り合い焼きもの収集、自分で製作もはじめ数々作品を残しております。フクロウのコレクションはかなりのもので自宅内にコレクションルームまで設けついには生きた梟まで飼育しました。きっかけは、私がヨーロッパ帰りに持ち帰ったギリシャのコインです。コインに描かれていたフクロウの絵が気に入ったのがコレクションの始まりです。父が亡くなった今でも、患者さんがお土産品やご自分で作られた小物などを持って来てくださるので、どんどん数が増えています。他には懐中時計やパイプの収集そして絵画です。父は美術展を観るのが好きで図録だけでもたくさん残っています。そして、絵の教室に通い油絵を描いており、父の描いた絵が50枚近く残っています。晩年は、宝貝に魅せられ、ニューカレドニアにまで旅行し集めておりました。父は図鑑に載っているほとんどの貝を収集したようです。かなり



珍しい貝もあったので父亡き後は、西宮の貝の博物館に寄贈しました。

浪速区の50年間で父が遺したものだけでも多数あります。最近、やましたひでこさんが書かれた「断捨離」という本が話題になり、世の中、断捨離ブームです。断捨離とは「モノを捨て、片づけることで、心のガラクタもすっきり整理し、人生をご機嫌に変える方法」のこと。もともとヨガの「断行」「捨行」「離行」という心の執着を手放すための教えに由来するものだそうです。キーポイントは「喜んで感謝して手放すこと」思いのこもったモノに向き合う時は、手放し方よりも自分の心の整理が一番のカギになります。

さあ50年間で溜まった膨大な荷物と思い出を喜んで感謝して手放す作業を直ぐにも始めなければいけない!!! 断捨離したら人生ご機嫌に!新しい世界が始まる!といますから楽しみにしながら始めたいと思います。



## 理事会報告



◎平成23年度11月第1回定例理事会

日 時 平成23年11月11日〈金〉

午後2時～2時50分

場 所 浪速区医師会 会議室

### 協議事項

1. 入野医院の移転について〈佐久間会長〉  
標記診療所より移転したいとの申し出があった。

移転先は、現在地より西へ約100メートルの元町2丁目3-19 TCAビル4階である。

移転予定日は、12月13日〈火〉。

協議の結果、了承。

2. 一般社団法人への移行申請について

〈澤井副会長〉

大阪府より、定款を大阪版日医モデルに沿った内容で申請をすれば、申請書類の確認が容易となり、平成24年4月1日付認可も可能であるとの連絡があった。

本会としても、平成24年4月1日付認可が可能であるならば、定款を大阪版日医モデルに沿った内容に変更し、早急に申請したい。

協議の結果、了承。

3. 定款変更案について 〈澤井副会長〉

申請する際の定款変更案を大阪府医師会が提示している「大阪版日医モデル定款」に沿ったものに変更し申請したい。

協議の結果、了承。

#### 4. 平成23年度予算の補正について

＜菱川副会長＞

今年度、入会金が予算よりも大幅に増額されることから、補正をしたい。

補正する項は、下記のとおり。

歳入の部	当初予算額	補正予算額	比較増減
入会金	50,000円	8,000,000円	7,950,000円
歳出の部			
会館建設資金返済引当金	400,000円	2,000,000円	1,600,000円
予備費	15,468,000円	21,818,000円	6,350,000円

協議の結果、了承。

#### 5. 医療情報委員会のアンケート実施について

＜金田理事＞

資料のとおり、「医療情報に関する意識調査」のアンケートを実施したい。

協議の結果、一部修正して実施することとなった。

#### 6. その他

なし。

#### 報告事項

##### 1. 日本の医療を守るための総決起大会について（10月29日〈土〉） ＜佐久間会長＞

次第は次のとおり。

▷開会

▷集会の主旨説明

▷主催者団体の代表紹介

▷意見表明

- ・「受診時定額負担制度とその問題点」  
大阪府医師会 茂松茂人
- ・「70歳～74歳の患者一部負担の引き上げの問題点について」  
大阪府歯科医師会 牧野利彦
- ・「医薬品の患者負担の見直しとその問題点について」  
大阪府薬剤師会 尾島博司
- ・「市民の立場から安心して受診できる皆保険制度を考える」  
日本主婦連合会 東瀬幸枝

▷決議の採択

▷がんばろうコール

▷閉会

（詳細 略）

##### 2. 大阪府医師会創立64周年記念式典について（11月3日〈木〉） ＜佐久間会長＞

シェラトン都ホテル大阪にて開催された。次第は次のとおり。

▷開式の辞

▷大阪府医師会長式辞

▷表彰

(1) 医学教育功労者

(2) 保健文化賞受賞記念大阪府医師会長賞

(3) 日本医師会最高優功賞受賞記念大阪府医師会長賞

▷功労会員感謝状贈呈

▷永年勤続本会職員表彰

▷謝辞

▷閉式の辞

（詳細 略）

##### 3. 第7回法人改定委員会について

（11月7日〈月〉） ＜澤井副会長＞

協議事項「2」「3」参照。

##### 4. 予算委員会について

（11月7日〈月〉） ＜菱川副会長＞

協議事項「4」参照。

##### 5. 医師とケアマネジャーとの連絡会に

（11月5日〈土〉） ＜橋村理事＞

次第は次のとおり。

▷挨拶

▷ブルーカードの説明

▷ブルーカードを使用し連携がうまく行った事例を紹介

▷独居の認知症高齢女性を地域の協力を得ながら支えているケース

▷スーパーバイザーまとめ

▷閉会の挨拶

6. その他  
なし。

◎平成23年度11月第2回定例理事会  
日 時 平成23年11月25日〈金〉  
午後8時～9時25分  
場 所 浪速区医師会 会議室

#### 協議事項

1. 一般社団法人への移行申請(定款変更案等)  
について <佐久間会長>  
資料にもとづき、移行申請に伴う定款変更案の協議と申請書の確認を願いたい。  
また、大阪府医事看護課へ提出している定款変更案、申請書の了承が得られれば、臨時総会をすぐに開催したいので、日程を決めておきたい。

協議の結果、定款変更案、申請書ともに了承。  
また、臨時総会の日程は、12月21日〈水〉午後2時に決定。

2. 富永病院主催BLS市民講座の開催について <富永理事>  
標記講座を開催するにあたり、市民参加者への周知について会員に協力願いたい。

協議の結果、次のとおりとなった。

- ①ポスター・チラシなどがあれば、本会を通じ会員に配付し、院内掲示の協力を依頼する。  
②小中学校の教諭を対象に開催する場合には、学校医に参加勧奨の協力を依頼する。  
③地域のネットワーク委員に参加を依頼する。

3. 税務講習会について <木田理事>  
例年どおり開催したい。

協議の結果、了承。開催日程(1月か2月)は、浪速税務署と調整すること

となった。

4. 職員賞与について <木田理事>  
例年どおりに決定。

5. 「医療クラウドについてのアンケート」について <金田理事>  
資料のとおり、大阪府下の病院および救急病院を対象に実施したい。

協議の結果、内容については前文を一部修正することに決定。また、府下の病院等に配付するにあたっては、府医に確認の上、実施することとなった。

6. その他  
なし。

#### 報告事項

1. 郡市区等医師会長協議会について  
(11月25日〈金〉) <佐久間会長>  
次第は次のとおり。

▷開会

▷会長挨拶

▷報告事項

▷連絡事項

- (1)JMAT医療救護活動の経費請求に関する移行調査実施の件  
(2)平成23年度文化講演会開催の件  
(3)次期大阪府医師会代議員・同予備代議員の件  
(4)平成24年大阪府医師会新春互礼会の件  
(5)12月度、平成24年1月～3月主要行事・会合日程の件

▷協議

▷閉会

(詳細 略)

2. 大阪市医師会連合会委員会について  
(11月21日〈月〉) <佐久間会長>  
次第は次のとおり。

▷連絡事項

- (1)大阪市公害健康被害認定者(64歳以

下)におけるインフルエンザワクチン  
接種費用助成事業の件

▷報告事項

- (1)大阪市地域密着型サービス運営委員会  
(10月19日)報告の件
- (2)大阪市介護認定審査会役員会  
(10月26日)報告の件
- (3)大阪市高齢者施策推進会議  
(11月4日)報告の件

▷協議事項

- (1)平成24年度大阪市予算の編成に対する要望の件
- (2)学術活動への補助金支給の件  
(詳細 略)

3. 浪速区地域支援調整チーム実務者会議について(11月17日〈木〉) <橋村理事>  
次第は次のとおり。

▷専門部会の報告

地域ケア会議、障害者専門部会、子育て支援専門部会、高齢者虐待防止専門部会

▷情報交換(要援護者支援について)

▷その他事務連絡等

(詳細 略)

4. 第2回浪速区地域包括支援センター運営協議会について

(11月24日〈木〉) <橋村理事>

次第は次のとおり。

▷運営協議会委員、事務局紹介

▷評価のしくみ、手順について

▷議題

- (1)浪速区地域包括支援センター
- (2)浪速地域在宅サービスステーション
- (3)日本橋地域在宅サービスステーション
- (4)難波地域在宅サービスステーション

(詳細 略)

5. 府医医学会総会について

(11月6日〈日〉) <久保田理事>

昨年に引き続き、ブルーカードシステムについて発表を行った。

発表内容は、下記のとおり。

①救急患者の現状と医療の電子化状況

②2011年度までのブルーカードの実績とデータ

③Syncnelによる医療クラウド

また、今回は発表用パネルに2台のiPadをはめこみ、「ブルーカードの使用方法」と「Syncnelの使用方法」を動画で見ることができるようにした。

6. 学術講演会について

(11月19日〈土〉) <橋本理事>

講演内容は次のとおり。

開催日 11月19日〈土〉

演題 「WPW症候群と不整脈源性右室心筋症」

講師 国立循環器病研究センター  
心臓血管内科医長

相原 直彦先生

出席者数 22名

共催 エーザイ(株)

情報提供 ワーファリンの安全性情報

7. 病診連携委員会について

(10月31日〈月〉) <金田理事>

次第は次のとおり。

▷第25回病診連携委員会報告について

▷ブルーカード事例検討について

▷病診連携委員会のアンケート結果について

▷個人情報の取り扱いについて

▷ブルーカード利用規約について

▷シンクネルの運用方法について

▷大阪府医師会医学会発表について

▷その他

(詳細 略)

8. その他

なし。

次回会議 平成23年12月16日〈金〉

午後8時～





## 11月度 学術講演会報告

学術担当理事 橋本 久仁彦

日 時 11月19日(土) 午後2時  
演 題 「WPW症候群と不整脈源性右室心筋症」  
講 師 国立循環器病研究センター  
心臓血管内科医長  
相原 直彦 先生  
出席者数 22名  
共 催 エーザイ(株)  
情報提供 ワーファリンの安全性情報

本講演は、相原直彦先生による心電図講義のシリーズである。今回も前々回から引き続きQRS波の異常について講義して頂いた。WPW症候群および不整脈源性右室心筋症の心電図について概説された。

### 1. 右脚ブロック、左脚ブロック、心室伝導障害についての復習

これまでの解説のとおり右脚は1本のみ存在し分岐は終末で起こり細いため元来脆弱である。左脚は前枝・中隔枝・後枝の3本からなり太く様々なネットワークを形成しており簡単には障害されない。つまり臨床的重要性は、右脚ブロック<左脚ブロックと言えるのであり、左脚ブロックの存在は重大な心筋の障害を意味する。

繰り返しになるが、右脚ブロックの診断のポイントは右室の興奮が遅れるため左向きの興奮を陽性と表現するI誘導およびV6誘導において深いS波を認めることである。また左脚ブロックの診断のポイントは、左室の興奮が遅れるためV6誘導においてR波上昇部分が幅広くなることである。QよりR波の頂点までの時間が、左脚ブロックの場合は70 msec以上となる。つまり心電図において小さなマス2つ(80 msec)以上あれば明らかに異常と判断できる。また、左脚前枝ブロック

は中隔の興奮が後下方から前上方に向かうので左軸偏位を示し、左脚後枝ブロックはその逆であり右軸偏位を示す。

それ以外のQRSの幅が広がる異常は、心室伝導障害とまとめられる。軽度の心室伝導障害を検出しようのが、加算平均心電図である。X誘導(I誘導に相当する)、Y誘導(II・III誘導に相当する)、Z誘導(V1・V2誘導に相当する)についてベクトルマグニチュード法によりQRS波を加算し平均することでノイズが消えて定常的な波だけを検出する。遅く電位が残存することをlow potential(LP)が存在すると呼ぶ。拡張型心筋症においてLPの存在はsustained VTと有意に関連することが報告されている。

脚ブロックに関連した不整脈として、「脚を介するリエントリー性心室頻拍」について解説された。例として、左脚を早く伝わり右脚を上行する(右脚ブロック型を呈する)リエントリーにより心室頻拍を来したアルコール性心筋症について紹介された。

### 2. WPW症候群

WPW症候群は、1,000人に1人に認められる異常であり、その1,000人に1人は突然死する疾患である。治療法として、かつては薬物療法による予防が主体だったが現在はカテテル焼灼法により90~95%の症例が治癒に至る(治療の実際についてDVDを供覧された)。このため、心電図診断においてケント束の存在する場所を推定することが重要である。実際の心電図を判読しながら、解説された。ケント束が左にある場合は、左室が早く興奮するため右脚ブロックパターンとなる。逆にケント束が右にある場合は、左脚ブロックパターンとなる。さらに、I・II・III誘導におけるデルタ波が上向きか下向きかによりその場所が推定できる。全て上向きの場合は、右室の場合は上方に左室の場合は前方にあると推測できる。II・III誘導で下向きが主体となるにつれ、右室の場合は下方に左室の場合は後方にあると推測できる。

### 3. 不整脈源性右室心筋症

クイズ形式で、不整脈源性右室心筋症について解説された。中年男性で、動悸発作、意識消失を繰り返し、動悸時に心室頻拍を来す症例の心電図を提示された。まず、V1～V4誘導でのpoor r progressionから心室中隔から前壁付近にかけての起電力の減少を来す前壁中隔心筋梗塞を考える必要がある。しかし、V1～V4誘導のQRSはrsR'波形を呈し右室の伝導が遅れていることを示す。前壁中隔心筋梗塞において、右室の伝導障害を来すことはまれである。また、胸部誘導にみられる陰性T波も心筋梗塞の場合は左右対称形を呈することが特徴であるがこの症例では非対称である。さて、poor r progressionを示す他の原因として胸壁前面側に右室が張り出し、左室に起電力が後方へ移動した場合が挙げられる。そして、最も重要な異常はrsR'波形にみられるギザギザの波形である。この所見は、その部位において組織学的変化が発生し、正常な心筋組織と異常組織が斑状に入り組み、正常の均一な伝導が障害されていることを示す。この波をイプシロン波（ $\epsilon$ 波）と呼ぶ。このように右室の組織障害や伝導障害を特徴とする疾患を、不整脈源性右室心筋症（ARVC）と呼び、非持続型・持続型の心室性不整脈を合併することが多く突然死の原因となる。右室胸部誘導に $\epsilon$ 波を認めた場合は、この所見のみでARVCと診断してよい。

（文責：橋本 久仁彦）

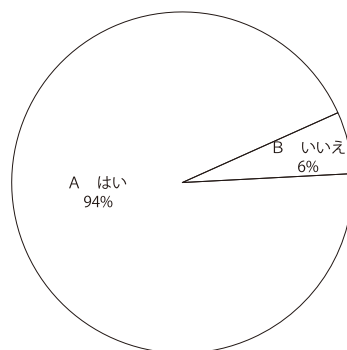
## 1 月度学術講演会のお知らせ

平成24年1月の浪速区医師会講演会はお休みです。

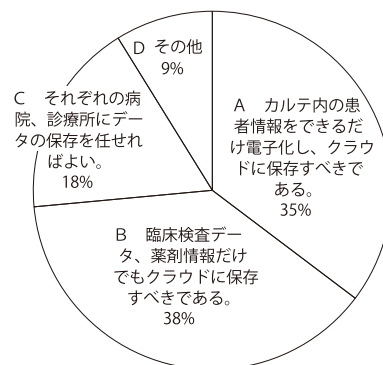
次回、多数の先生方の参加をお待ちいたします。

平成23年度 医療情報に関する意識調査アンケート結果  
57医療機関中34件より回答

1. 将来的には、診療所間にある程度の患者情報の共有化は必要だと思いますか？

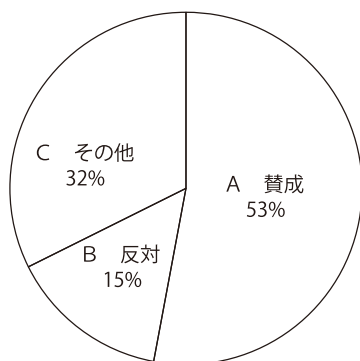


2. 今回の震災を教訓に、非常事態における医療情報の喪失を防御するためには、どうすればよいと思われますか。

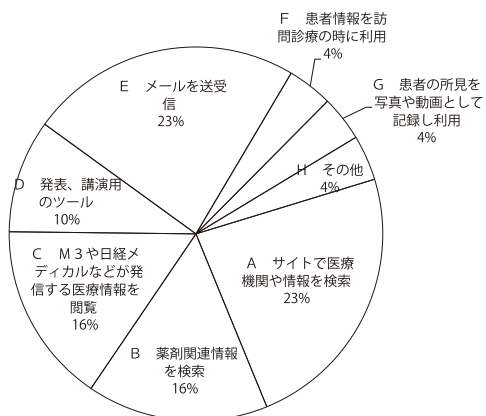


平成23年度 医療情報に関する意識調査アンケート結果  
57医療機関中34件より回答

3. モバイルツール(iPadなど)を利用して様々な医療情報(臨床検査データ、薬剤情報、地域連携クリニカルパスなど)を診療所間で共有化することをどのように思われますか。



4. PC以外のモバイルツール(iPadなど)を医療用に使っている先生方がおられましたら、その使い方を教えてください(複数回答可)。



## 浪速区医師会 活動の伝言板

平成24年1月の各業務の出務予定は次のとおりです。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

### 三歳児健診

●保健福祉センター

1月26日(木) 午後1時40分～3時30分

眼科 澤井 貞子

耳鼻科 川田喜代子

### BCG接種

●保健福祉センター

1月19日(木) 午後2時～3時30分

工藤俊次郎

本田 秀明

### 大阪市高齢者健康医療相談

●老人福祉センター 午後2時～4時

1月10日(火) 桧山 寛市

1月13日(金) 川田喜代子

1月17日(火) 福永 真也

1月20日(金) 金田 高次

1月24日(火) 有田 繁広

1月27日(金) 本田 秀明

1月27日(火) 中山 博文

### 産業医健康相談窓口

●浪速区医師会 午後2時～4時

1月20日(金) 森本 靖彦

### 急病診療所出務

●中央急病診療所

1月7日(土) 午後10時～翌午前6時

松崎 智彦



●今里休日急病診療所

1月1日<日> 午前10時～午後5時

原田 直己

有田 繁広

藤吉 理夫

1月15日<日> 午前10時～午後5時

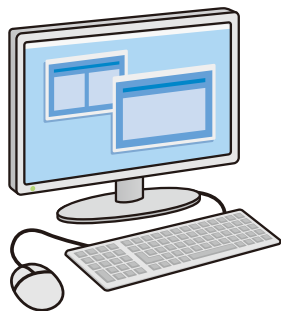
菱川 秀夫

橋村 直隆

**浪速区医師会クラブ活動案内**

各クラブ活動は下記日程で行っております。  
多数のみなさま方の参加をお待ちしております。  
(ときに時間変更される場合もありますので、各部代表まで連絡をお願いいたします。)

囲 碁 部 毎月第1・3・5(土)  
(川田信) pm 5:00～



**新年互礼会のご案内**



平成24年の新しい年を迎えるに当たり、恒例の新年互礼会を下記のとおり開催することといたしました。

つきましては、ご多忙のところ誠に恐縮ですが、万障お繰り合わせの上、是非ご出席下さいますようご案内いたします。

記

日 時 平成24年1月21日<土> 午後6時～

場 所 スイスホテル南海大阪

7階「花桐の間」

TEL 06-6646-1111

準備の都合がございますので、出席される方は本会までお申し込み下さい。

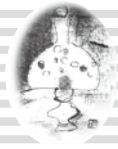
●年末年始休館日のお知らせ●

今冬も下記のとおり、浪速区医師会の業務を休止いたしますので、よろしくお願ひいたします。

記

12月29日<木>～1月4日<水>

※緊急連絡時は、事務所にご連絡(電話 6633-3818)下さい。転送電話となっております。



## あとがき

Y.M

3月11日の東日本大震災と福島原発事故で日本中が大パニックに陥った平成23年(2011年)もあとわずかです。2011年という年は今後も永遠に歴史に残ることになるだろう。津波で肉親や家屋を一瞬にして奪われた方々や、いまだに汚染された故郷に戻れない人々、仮設住宅で厳寒期を過ごす人達のことを考えると、平穏な大阪に住んでいる我々は幸せだと思わねば罰があたる。

しかし、その大阪にも先日大きな異変が起こった。大阪市長・大阪府知事同時選挙で、“大阪維新の会”の二人が圧勝したからである。橋下氏は言うことを聞かない現職の平松市長を退けるために、わざわざ知事の座をなげうって挑戦し、勝利をおさめた。有権者は本当に橋下氏の大言壮語を信じて、大阪が良くなると思って投票したのだろうか。彼のカリスマ性と雄弁さに幻惑されて、一票を投じたのではないだろうか。大いに疑問である。

一方、知事にはやはり橋下氏の盟友である松井氏が当選したのだが、大阪全体ではほとんど無名に近かった同氏が、次点の倍以上という圧倒的な大差で選ばれたのには正直言って驚いた。橋下氏の率いる大阪維新の会という組織が、いつの間にか根強い支持を得ていることを示しているのであろう。

橋下氏は知事時代に随分暴言も吐いたし、独裁者とは言わぬまでも、ほぼ思い通りに大阪府を支配しようとした。そのやり方には大いに危険を孕んでいるし、不満もある。しかし大向こうを唸らせるだけの迫力もあった。とくに大阪都構想には賛同の意向を示した人が少なくないだろう。

大阪市民はいまだに八十年以上昔の大大阪の夢を追っている。大正から昭和の初期にかけて大阪は商工業の発展と経済の実力で一時は東京をも凌駕していたし、人口も今より多

かった。しかし現在は東京に大差をつけられている。その悔しさが大阪都構想に漠然とした期待を抱かせているのかも知れない。

大阪市内に住んでいる人とは違って、あとがき子のように大阪市外(東大阪市)に住みながら毎日大阪市で働いている者から見れば、大阪はやはり府下や市内で区別せず、一体化してほしいと思う。大阪市在住の高齢者は、地下鉄や市バスの運賃や市立美術館の入場料が無料になるのに、同じ大阪人でも市外在住の高齢者は何の恩恵も受けられないことには、日頃憤懣を覚えている。ひょっとしたら私と同様の不満を持っている多くの大阪府下の住民が松井氏を圧勝させたのだろうか。

さて、巻頭言士は「断捨離」のことを述べておられる。私も今や全く利用しない1960～80年代の英文医学雑誌を先日思い切って全部廃棄した。せっかく揃っているのに、何だか惜しい気がして置いていたのだが、処分して本棚にスペースができてすっきりした。この年末は大掃除の代わりに断捨離しよう。

会員の皆様のご無事な越年を祈念して、本年最後の「あとがき」を終える。

目次	ページ
巻頭言	
50年の荷物をそろそろ断捨離	
菱川 秀夫	1
理事会報告(11月開催)	2
11月学術講演会報告 橋本久仁彦	6
1月学術講演会のお知らせ	7
医療情報に関する意識調査アンケート結果	7
浪速区医師会活動の伝言板	8
新年互礼会のご案内	9
年末年始休館日のお知らせ	9
あとがき	10

### 【区医だより】

発行者 佐久間靖博

編集者 中村泰久 橋村直隆

印刷所 株式会社 サ ビ